

甲南大学主催 in TOKYO 業界・企業研究講座

3月1日の企業説明会解禁前日の2月12・13日。甲南大学主催の「業界・企業研究講座 in TOKYO」が、東京都渋谷区国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。参加校は甲南大学のほか、首都圏から成蹊大学、成城大学、武蔵大学、九州から北九州市立大学の5大学。128人（うち甲南大学73人）の大学3年生・修士1年生が、業界説明会、グループディスカッション演習など、本格的な就活に向けて密度の濃い2日間を過ごした。

業界説明会に参加した企業
(50音順)

キャンマーケティングジャパン/ジンス/スズキ/大正製薬グループ/東急エージェンシー/日本アクセス/パナソニックグループ/三井住友銀行/三井住友ファイナンス&リース/UCC上島珈琲



甲南大学「ネットワークキャンパス東京」
東京での活動拠点として首都圏の就職活動を全面的にバックアップ。東京駅直結のサピアタワー10階にあり、移動にも便利な立地。



初対面ながら活発な議論。「敵ではなく議論を深め合う仲間」の意識が根付いた

「大学によってカラーの違いを感じたと同時に自分の強みも発見できた。ただ漠然と考えるのではなく、議論を深め合う仲間」の意識が根付いた。

「大学によってカラーの違いを感じたと同時に自分の強みも発見できた。ただ漠然と考えるのではなく、議論を深め合う仲間」の意識が根付いた。

1日目。企業による採用選考がよく行われるグループディスカッション（GD）演習からスタート。三井住友ファイナンス&リース株式会社の平井健一さんが、企業がGDを行う狙いを説明する。企業側の目線に立ち、GD開始にあたって定義づけを行う重要性。さらに発表のコツ、結論結ぶ（まずは結論から述べ、その理由を語り、最後に結論でしめくく）など、実践的なスキルが伝授された。



各テーブルについていたキャリアセンター職員らが、改善点を指摘

キャリアセンターから

キャリア教育は厳しく、そして手厚く

甲南大学
キャリアセンター所長
経営学部教授
北居 明さん



甲南大学では就活に向けての演習を始め、学生一人ひとりに寄り添ったキャリア教育を行っています。寄り添うといっても、それはもちろん、甘やかしの手厚いものではありません。売り手市場といわれる今の就職環境ですが、将来自分にとってよりよい仕事を主体的に考え、目的意識を持って自らの努力でキャリアを手にしてほしい。だからこそ、時には厳しい指導も行います。今回の講座は、環境の異なる5大学の学生が参加することで、日常とは違った緊張や刺激を受け、目前に迫った就活に向けて自分を見直す良い機会だと考えています。

グループディスカッション

本番さながらに

自分の特性を認識

Time Schedule

- 2月12日(月)
 - 13:30 開会式
 - 14:00 グループディスカッション 説明と実践
 - 16:00 参加学生茶話会 (情報交換会)
 - 17:30 OB・OG 懇談会
 - 19:30 1日目終了
- 2月13日(火)
 - 9:00 企業人事担当者による講演会
 - 10:00 業界説明会①
 - 11:00 業界説明会②
 - 12:00 昼食 企業人事担当者との懇談会
 - 13:15 業界説明会③
 - 14:10 業界説明会④
 - 15:05 業界説明会⑤
 - 16:00 閉会式

企業人事担当者による講演会・業界説明会 (午前)

多様な企業業界の理解を深める

2日目。キャンマーケティングジャパン株式会社の社務・人事本部長の釘本健太郎さんは、会社で働くこと「プロ」として、将来の自分の市場価値を考慮する大切さを講演。また、「今の時代、単純に情報を得ることは可能です。ただし、情報を多く集めてスマートに物事を進めようとするのは就職活動の本質とは異なります」と訴え、「具体的に自身がどのような会社力になれるのか、説得力のある自己アピールに磨きをかけてください」と時代性を踏まえたアドバイスで締めくくった。

続いて行われた業界説明会は、50分間の業界説明を5社まで参加できるスケジュール。午前、午後にわたり、金融・商社・メーカーなど合計10社がブースを構え、人事担当者が業界の仕組み、企業情報などを説明し、学生たちの思いを受け止めた。



互いの熱意が伝わる距離感で行われた

参加学生茶話会、OB・OG懇談会

仲間との交流 貴重な先輩の体験談



業界ごとに先輩が待つテーブル。自然と輪ができる

GD後の茶話会は、打ち解けた学生どうし、就活情報や連絡先を交換するなど和やかな雰囲気です。その後甲南大学の学生は、首都圏の企業で活躍する卒業生と夕食をともにしながらの懇談会。多様な業種からこの日集まった17人のOB・OGは、仕事の内容や就活体験、時間の使い方など学生ならではの悩み相談、同窓だから

GD後の茶話会は、打ち解けた学生どうし、就活情報や連絡先を交換するなど和やかな雰囲気です。その後甲南大学の学生は、首都圏の企業で活躍する卒業生と夕食をともにしながらの懇談会。多様な業種からこの日集まった17人のOB・OGは、仕事の内容や就活体験、時間の使い方など学生ならではの悩み相談、同窓だから

昼食会・業界説明会 (午後)

人事担当との貴重なコミュニケーション

午前の業界説明会終了後は、企業担当者を囲んでの昼食会。学生たちは自分の希望する業界の担当者が座るテーブルに着く。和やかな雰囲気の中にも、学生たちからは貴重な話を聞き逃さない、という貪欲な姿勢が感じられた。



昼食を囲み、説明会とは違う和やかな雰囲気



どのブースも学生たちの真剣な表情が印象的だった

甲南大学 理工学部

金丸 朝香さん
OB・OGから
時間管理法を



今回の講座に参加したことで、希望企業を見つけることができました。毎日実験などで忙しく、体育会のマネージャーもしています。そこに就活も入ってきて、時間がないことが悩みでした。OB・OGの方から時間の使い方のアドバイスをいただき、これから前向きに頑張りたいと思いました。

武蔵大学 経済学部

山下 翔大さん
他大学の仲間から
たくさんの刺激



参加して感じたのが、他大学の学生のハンガリー精神。大いに刺激を受けました。GD演習では自分の立ち位置や役割分担、発言方法など細かい箇所まで考えるきっかけになりました。就職先がゴールではなく、その先、社会人としてどう生きていくかを考える大切さを学びました。

甲南大学 法学部

加藤 聖也さん
働く姿をイメージ
強みと弱みを客観視



これだけ多様な業界の話を、1日で聴ける機会はめったにないと思い参加しました。食品業界志望ですが、メーカーと卸の役割や仕事の違いなどがクリアになり、働く具体的なイメージがわかりました。他大生とのGDでは、自分の強みや弱みを比較しながら客観視できたことが収穫です。

北九州市立大学 経済学部

江木 翔子さん
就活スイッチがオン
刺激的な2日間



「就活は情報戦」と聞いていたので、学外の友人とネットワークを作り、情報をたくさん得ることができました。東京や関西の仲間たちの現在の就活状況を聞き、自分は少し遅れていると実感。私の就活スイッチも本格的に入りました。ここでしか会えない企業もあり、とても刺激的な2日間でした。

阪神間に、甲南あり。

2019年4月、学校法人甲南学園は創立100周年を迎えます。



百世不磨とは一
永久に消えずに残ること。
いつまでも消滅しないこと。

甲南学園

甲南大学 甲南高等学校 甲南中学校
http://www.konan-u.ac.jp

